

知の森で遊ぼう！～双六データベースを調べる・読み込む・楽しむ

① 双六 DB にアクセス

「双六ねっと」で検索してみてください。(URL:https://www.sugoroku.net/)

② 画面構成を確認する

The screenshot shows the 'Sugoroku Database' search page. Callouts provide the following information:

- 21の分類項目から検索できる**: A list of 21 classification categories is shown, including '文明・開化', '正月・節季', '風俗・暮らし', '衛生・健康', '仏法・浄土・宗教', '出世・競争・官位・キャリア・仕事・職業', '女性・少女・女礼式', '庭訓・学習・善悪・教育・啓蒙', '宣伝・お披露目・広報', '武者・武勇・合戦・戦争・歴史', '童話・童謡', '妖怪・キャラクター・漫画', '遊芸・芸能', '歌舞伎・芝居・役者', '忠臣蔵', 'スポーツ', '名所・道中・観光', '冒険・宇宙'.
- キーワード、作品名、絵師、彫摺師、出版年月などからも検索できる。**: The search form includes fields for 'キーワード' (keyword), '作品名' (work name), '絵師' (artist), '彫摺師' (carver), and '出版年月' (publication year).
- 【閲覧】ボタンクリックでDB全件（658件）のサムネールを表示できる。**: The '閲覧' (View) button at the bottom of the search form is highlighted.

③ 「女性・少女・女礼式」の分類語で検索してみると・・・



110 件のサムネール（縮小された見本画像）が表示されます。ここでは1画面に表示されています。
例) ○の「男女一代婚禮壽語六（だんじょいちだいこんれいすごろく）」をクリックすると、選択した双六の詳細を確認することができます。

④ 拡大して情報を得る

NO : tkjSG047・慶応03（1867）・落合（一恵齋）芳幾・板元: 辻岡屋文助などの情報が得られる。
画像をクリックすると拡大したマスを見ることができる。



某地双六 双六データベース詳細情報表示

110件の中15件を表示中

画像文字検索 ImageNote User Memo

検索 拡大 縮小 縮小 縮小 縮小 縮小 縮小

新規検索 追加の条件

サムネイル一覧 縮小情報付一覧 ArtWiki English

検索: tkjSG047 CoGN: tkjSG047 Portal De

名称: 落合【一恵齋】芳幾 (ochiai yoshiiku) 落合印: 落合印

判型: 寸法: 59x72 (縦x横cm) 紙方向: 作品位置: 1 枚組の 1 巻目 1 枚組の 1 枚目

原図: 1867 CoGN: 1 All: 1

板元文字: 辻岡屋文助

出版年月: 慶応03 (1867) 出版地: 東京 印刷所: 浮世絵

作品名: 男女一代結婚書語六

作品ID: tkjSG047

作品説明: 下巻 結婚書語六より tkjSG047 解説 男女一代結婚書語六巻六のこと

系統分類: 双六 1 分類: 風俗・暮らし 女性・少女・女礼式 出世・競争・官位・キヤリア・仕事・職業 遊技・学習・善悪・教育・習俗

解説 詳細情報

所蔵: 某地双六 資料: 浮世絵

URL: https://www.dh-jac.net/dmshoe/tkjSG047/tkjSG/

https://www.dh-jac.net/dmshoe/tkjSG047/tkjSG/manifest.json

縦向き・縮小倍率 1280x 1024x 800x 100x

© TSUKIJI SUGOROKUKAN 某地双六, All Rights Reserved.

⑤ 解説を読む

○の解説をクリックしてみよう。内容・時代背景・マスの構成について解説されている。

■男女一代結婚書語六の解説

時は幕末。男女の習い事、婚礼に至る行事や風俗が人生模様として活き活きと描かれている。全体26マスの振出しは、娘の御殿奉公である（双六の構成は下記参照）。江戸城や大名・旗本などの武家屋敷に御殿奉公として勤めた娘は、幕臣の出身だけでなく、商家や農家の娘もいた。行儀見習いなどを身に付け、箔をつけて、良縁を得る目的もあった。中には、出世の手段として美しい娘を自家の養女にして將軍家に奉公に出す旗本もいたという。上りは「三々九度」と「七五三」だ。二つもあるのは、おめでたくも珍しい双六といえよう。

マスに描かれている事で説明の必要なものについて以下に記す。

- ・里開き（さとびらき）・・・里帰りのこと。「かえり」ということばを忌みきらって、縁起のよい「ひらき」を用いた。
- ・釣台（つりだい）・・・人や物をのせて運ぶ台。板を台とし、両端をつり上げて前後からかつぐ。嫁入道具などをのせて運ぶのにも用いる。
- ・七所がね（七所鉄漿：ななところかね）・・・江戸時代、結婚した女性が初めておはぐろの鉄漿をつけること。初鉄漿をする時に七軒をめぐって鉄漿をもらう風習があった。

※鉄漿（かね）：歯を黒く染めたり、衣を紺色などに染めたりするのに用いる、鉄を酸化させた液。

■男女一代結婚書語六の解説（マスの位置は適宜調整した）

七五三 上り	安産		こし入れ	三々九度 上り	
	宿下り	仲人			
	腹帯	結納	見あひ		
釣臺	里開き	衆隠居	こと	吉日	七所がね
	十六盤	家督		歌俳諧	
芝居	踊り		縫針		元服
	遊女遊び		手習い ふり出し	三味線	御殿奉公